

大会宣言（案）

私たちは、本日、第23回定期大会を開催し、党員の活発な討論により、この1年間の活動を総括し、新たな運動の方針を決定しました。本大会は、新型コロナウイルスの感染が拡大し非常事態宣言の発令、延長という情勢の中で開催されました。

新型コロナウイルスの感染拡大はとても深刻な状態になっています。5月10日現在、国内で感染が確認された人は1万5777人、クルーズ船の乗客・乗員が712人で、合わせて1万6489人となっています。亡くなった人は、637人です。世界的には、感染者402万5140人、死亡した人は世界全体で27万9329人となっています。（NHK2020年5月10日）

日本では水際対策に失敗し、PCR検査も諸外国と比べてあまりにも少ないと批判され、情報開示も不十分だと言われています。4月7日に緊急事態宣言が出され、5月7日に延長されました。安倍政権は、「新型コロナウイルス」を利用して不安をあおり、自粛を「強制」し、憲法に「緊急事態条項」を書き込む必要があるとの主張までしています。まさに国民がコロナ災害と命を懸けて闘っている時に、安倍9条改憲策動がうごめいています。

昨年7月に行われた参議院選挙は、32の一人区で市民と野党の共同候補で闘い10選挙区で当選し、改憲議席3分の2割れに追い込むことができました。山梨選挙区は惜敗しましたが新人ながら善戦し、私たち新社会党も闘いの一端を担うことができました。

安倍政権の大罪は、国民主権、立憲主義を無視し、「ウソ、隠ぺい、改ざん、私物化」を繰り返していることです。最近では「桜を見る会」「検察庁法改正案」「河合夫妻買収疑惑1億5000万円選挙資金」「IR疑獄」等々数え挙げたらきりがありません。

私たち国民生活に大きな影響を与えたのは、消費税10%への増税です。個人消費は冷え込み、それに新型コロナウイルスの打撃、東京オリンピック延期により想像を絶する経済の悪化が予想されます。雇用破壊と失業者増大は火を見るよりも明らかです。4月から9月までの半年間で消費は47.0兆円減少し、GDPは8.5%低下するという試算もあります。（野村総研）

このような情勢にあって、新社会党に期待する声と果たす役割は大きくならざるを得ないと言えます。私たちは、人間らしく生き新しい社会を実現するためにも、安倍内閣を打倒し新しい政治を作り出さなくてはなりません。そのためには職場で地域で多くの仲間と共に闘い、学習し、政党としての主体的強化を果たさなくてはなりません。山梨県内においても市民と野党の共闘運動は前進しており、新社会党は微力ながらその運動の一翼を担っています。

本日の第23回定期大会で議論され決定された活動方針を、党綱領の指し示す路線に沿って全党員が全力で取り組みます。そして、その闘いの成果が搾取と階級対立のない新しい社会の実現につながることに自信と確信を持ち、一致団結して闘い抜くことをここに宣言します。

2020年5月12日

新社会党山梨県本部 第23回定期大会